

※太枠内をご記入ください※

■ご依頼者名(会社名) 株式会社メイプル・リンク		■住所 〒113-0034 東京都文京区湯島4丁目6番12号		■請求先 (ご依頼者と異なる場合はご記入ください。)		
■E-mail: info@mapkelink.co.jp		■部署名: 品質管理		■TEL: 03-5840-6366		
■ご請求方法(左よりご選択下さい)		■初回発注 <input type="checkbox"/> 発注時支払い割引(5%) <input type="checkbox"/> 通常発注(翌月末振込)				
■報告書様式(輸出用検査の場合)		<input type="checkbox"/> 英文(標準) <input type="checkbox"/> 和文 ■英文&和文(2,000円追加手数料がかかります)				
■検体の返還(着払)区分		<input type="checkbox"/> 返還不要 ■返還(着払) <input type="checkbox"/> 化学品(原則として着払いで返還します)				
■役職名: 代表取締役		■ご担当者名: 鈴木 富美子		■FAX: 03-5840-6367		
検体名(報告書に記載されます)	放射能検査内容	検体数	備考(検体情報)	※弊社記入欄 検体コード	荷姿・数量	保存状態
原水(H23/5/9採水 ミュープラテ イア上水道)	迅速検査+検出時追加核種検査	1	茨城県水戸市上水戸			室温・冷蔵・冷凍
ソリューヴ通過水(H23/5/9採水 ミュープラテイア上水道)	迅速検査+検出時追加核種検査	1	茨城県水戸市上水戸			室温・冷蔵・冷凍
						室温・冷蔵・冷凍
						室温・冷蔵・冷凍
						室温・冷蔵・冷凍

分析指示事項(輸出用検査の場合、報告書に記載するLot番号、Lot数量等を記載してください)

迅速検査後の追加核種検査は、発注時受付のみとなります。(追加核種検査実施の条件を指定してください。指定なき場合は、実施できませんのでご了承下さい)

お支払いについて:

1. ご新規(初回発注)の場合、検体受領時にご請求させていただきますので、検査完了前にお支払いをお願い致します。
2. 2回目以降のご発注の場合、検査完了時に報告書とご請求書をお送り致します。翌月末までにお支払いをお願い致します。
3. 割引については、事前支払い割引5%もごさいます。(検査受託時に請求書を発行致しますので、前払いにてお支払いください。ただし、初回発注を除く)
4. 数量割引(10検体以上)、定期検査割引等の割引がございます。詳しくは検査業務担当にご照会ください。

※弊社記入欄

受付日	受付No.	受領確認	完了予定	備考
/ /			/ /	

放射能(核種)検査報告書

依頼者名: 株式会社メイプル・リンク 御中
(MAPLELINK CO.,LTD.)

結果報告日: 2011年5月15日

報告書番号: RIN11GM046C

52340

試料名 : 原水(H23/5/9採水 ミュープラテイヤ上水道)

株式会社 同位体研究所
代表取締役 塙 章

横浜市鶴見区末広町1-1-40

横浜市産学共同研究センター内

TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は、依頼者記載

検体量 : 500ml

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるγ線スペクトロメーターによる核種測定。サンプル調整については、文部科学省 環境試料採取法に準ずる。

分析結果: 核種検査

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	検出限界
Iodine-131	日本 飲用水	ND	Bq/kg	1 Bq/kg
Caesium-134 Caesium-137	国内は、合算規制値	ND ND	Bq/kg Bq/kg	1 Bq/kg
Cs-134&137	日本 飲用水	ND	Bq/kg	1 Bq/kg

日本の規制値は、厚生労働省 食品放射線残留規制値

ND: Not Detected(不検出) 尚、本検査では、測定時間は15分間

放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、第2段階モニタリングにおける測定・分析により、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。本測定においては、定量限界に示す定量性が、多核種の存在もしくは、検体の放射性物質による汚染濃度により低下する場合がある。ただし、緊急時においても10分間計測において、I-131にて40Bq/kg、Cs-137において、80Bq/kg程度の検量性を保持する為、食品規制値における判定を行う上で、有効である。尚、放射性ヨウ素換算での総放射能濃度迅速検査(1次検査)に追加して核種分析を行う場合、放射性ヨウ素(I-131)については、半減期が8日と短いため1次測定に比して測定値が減少する事を注記する。

結果注釈: I-131, Cs-134, Cs-137不検出

放射能(核種)検査報告書

依頼者名: 株式会社メイプル・リンク 御中

結果報告日: 2011年5月15日

報告書番号: RIN11GM047C

52340

試料名: ソリューヴ通過水(H23/5/9採水 ミュープラテア上水道)

株式会社 同位体研究所
代表取締役 嶋 章

横浜市鶴見区末広町1-1-40

横浜市産学共同研究センター内

TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は、依頼者記載

検体量: 500ml

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるγ線スペクトロメーターによる核種測定。サンプル調整については、文部科学省 環境試料採取法に準ずる。

分析結果: 核種検査

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	検出限界
Iodine-131	日本 飲用水	ND	Bq/kg	1 Bq/kg
Caesium-134 Caesium-137	国内は、合算規制値	ND ND	Bq/kg Bq/kg	1 Bq/kg
Cs-134&137	日本 飲用水	ND	Bq/kg	1 Bq/kg

日本の規制値は、厚生労働省 食品放射線残留規制値

ND: Not Detected(不検出) 尚、本検査では、測定時間は15分間

放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、第2段階モニタリングにおける測定・分析により、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。本測定においては、定量限界に示す定量性が、多核種の存在もしくは、検体の放射性物質による汚染濃度により低下する場合がある。ただし、緊急時においても10分間計測において、I-131にて40Bq/kg、Cs-137において、80Bq/kg程度の検量性を保持する為、食品規制値における判定を行う上で、有効である。尚、放射性ヨウ素換算での総放射能濃度迅速検査(1次検査)に追加して核種分析を行う場合、放射性ヨウ素(I-131)については、半減期が8日と短いため1次測定に比して測定値が減少する事を注記する。

結果注釈: I-131, Cs-134, Cs-137不検出

注) 検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。弊社は、検体の取去に一切関与しておらず、検体以外のいかなる製品に対して、この分析結果を証明するものではありません。本分析試験報告書を弊社の許可なく無断で転載し、使用することを禁止します。